

「いしかわ百万石文化祭2023」
応援事業

ガラ美30年の軌跡
～コレクションヒストリー～
Trace of 30 years of the
Notojima Glass Art Museum - Collection History

2023.
9.30-11.26
sat. sun.

◎休館日：毎月第3火曜日

会 場：石川県能登島ガラス美術館
開館時間：午前9時～午後5時
※入館は閉館の30分前まで
主 催：石川県能登島ガラス美術館
(公益財団法人七尾美術財団)




石川県能登島ガラス美術館
NOTOJIMA GLASS ART MUSEUM

KISS / パヴェル・フラヴァ / 1999年 / 撮影：岡村喜知郎
おどけたフクロウ / エジディオ・コスタンチャーニ (パブロ・ピカソのデザインにもとづいて)
1962年 / 撮影：品野与四寛 / 石川県立美術館蔵
THE MAN / ヤン・フィサル / 1994年 ※所蔵先の表記がない作品は全て石川県能登島ガラス美術館蔵

【展覧会名】 ガラ美 30年の軌跡 ～コレクションヒストリー～

※「いしかわ百万石文化祭2023」応援事業

【会 期】 2023年9月30日(土)～11月26日(日)

※休館日 毎月第3火曜日

【開館時間】 9:00～17:00

※入館は閉館の30分前まで

【会 場】 石川県能登島ガラス美術館

【作品点数】 140点

【観 覧 料】 一般 500(400)円、大学生 350(300)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体および前売券料金

※前売券はローソン・ミニストップ、ファミリーマート、セブン-イレブンで取り扱い

(JTB 商品番号 0263293)、発売期間 9/30～11/26

【主 催】 石川県能登島ガラス美術館(公益財団法人七尾美術財団)

【お問合せ】 石川県能登島ガラス美術館

〒926-0211 石川県七尾市能登島向田町 125-10

TEL:0767-84-1175 FAX:0767-84-1129

E-mail: glass@nanao-af.jp

■展覧会について

当館は、陶芸や漆芸、金工、染織などの伝統工芸が盛んな石川県において、工芸の新たな分野として期待されたガラス芸術の情報発信基地となるべく、石川県の協力のもと旧能登島町により設置されました。開館に向けて中国清朝ガラスと20世紀の巨匠のデザインによるイタリアのガラス造形作品(石川県からの寄託)を収蔵し、屋外庭園には大型ガラス作品を加え1991年7月にオープン。以降、30年以上におよぶ収集活動(購入や寄贈、寄託)によって、国内外で活躍する現代作家の作品も充実してきました。本展では収蔵品から優品を紹介し、コレクション形成のあゆみをご覧ください。

1章. 20世紀の巨匠とガラス (開館時に券が購入し、当館の保管となったもの)

イタリアのエジディオ・コスタンチーニ(1912-2007)は、ヴェネチアン・ガラスの再興と新たなガラス芸術の創造を目指し、ヴェネチアの熟練したガラス職人と20世紀を代表する巨匠たちとのコラボレーションをプロデュースしました。パブロ・ピカソ(1881-1973)、ジャン・アルプ(1887-1966)、ジャン・コクトー(1889-1963)など、巨匠たちから提供されたデザインをもとに、新たなヴェネチアン・ガラスが誕生します。石川県立美術館が所蔵するこれらのガラス造形作品は当館に寄託され、開館当時から展示保管しています。

2章. 展覧会をきっかけに (能登島での公募展や国際ガラス展出品作など、また当館企画展出品後に収蔵したもの)

開館以後、当館は国内外で活躍する現代ガラス作家の作品の収集に乗り出します。そこには収集の足掛かりとなった2つの公募展がありました。「日本現代ガラス展・能登島」、「国際ガラス展・金沢」の出品作品が寄贈や購入により、収蔵品に加わりました。また当館主催の企画展へ出品いただいたのち、作家ご本人からご寄贈いただく機会にも恵まれました。本章ではこれらの作品とともに、寄託作品をあわせて紹介します。

3章. コレクター、作家のご厚意 (コレクターからの寄贈作品)

博物館や美術館では、主に購入・寄贈・寄託といった方法をとりながら収集活動を行っています。開催する展覧会が収集に繋がることもあれば、日頃の地道な活動に理解を寄せる方から寄贈を受けることもあります。当館のコレクションは、誰もが親しむことができる公共の財産として、縁ある作家をはじめ、美術館活動への理解や信頼、期待を持って寄贈していただいた方々のご厚意に支えられ、豊かに形成されています。

4章. 購入による作品収集 (開館時に購入した清朝ガラス)

購入による収集は、美術館が自発的にコレクションの充実を図る重要な機会となっています。当館では「歴史的・世界的に評価されたガラス芸術作品等」を収集方針に掲げ、開館以降、国内外の作品を、時代やジャンルを問わず、幅広く購入、収蔵してきました。限られた予算のなか、常にアンテナを張りめぐらせて情報収集を行い、当館のコレクションに何を加えるべきか考え、購入作品を選定しています。

■関連プログラム

●ギャラリートーク

学芸員が作品の見どころを解説

日 時:11月5日(日) 13:30-(所要時間 約60分)

会 場:展示室内

参加費:無料(大学生以上は要当日観覧券)

●スライドレクチャー

学芸員が作品画像をもちいて詳しく解説

日 時:11月19日(日) 10:30-、13:30-(所要時間 約30分)

会 場:当館別棟

定 員:先着15名

参加費:無料

■会期中のイベント

●ランプワーク・デモンストレーション 2023

北陸在住作家がガスバーナーでガラスをとかし、華麗な技を披露します。

日 時:10月7日(土)、8日(日) 各日10:00-16:00

会 場:当館別棟

参加費:無料

※詳細は当館HPにてお知らせします。

■広報用画像

画像1~8を広報用にご提供いたします。ご希望の方は<使用条件>をお読みの上、美術館までお申し込みください。

TEL: 0767-84-1175 / FAX: 0767-84-1129 / Email: glass@nanao-af.jp

<使用条件>

- ・広報用画像の掲載時には各画像のキャプションおよびクレジットを明記してください。
- ・トリミング、画像への文字乗せはご遠慮ください。
- ・情報確認のため、校正紙を当館までお送りください。

1章. 20 世紀の巨匠とガラス



おどけたフクロウ／エジディオ・コスタンチーニ(パブロ・ピカソのデザインにもとづいて)／1962 年／撮影:品野与四寛
石川県立美術館蔵



二組の人形／エジディオ・コスタンチーニ(ジャン・アルプのデザインにもとづいて)／1963 年／撮影:品野与四寛
石川県立美術館蔵

2章. 展覧会をきっかけに



飾筒「紅白梅」／藤田喬平／1992 年／撮影:岡村喜知郎



THE MAN／ヤン・フィシャル／1994 年

3章. コレクター、作家のご厚意



琥珀金彩硝子花器／岩田藤七／1980 年頃
撮影:岡村喜知郎



葡萄文三ツ脚蓋物／日本／1898-1926 年

4章. 購入による作品収集



白地藍被楼閣文瓶／中国／清時代・18 世紀
撮影:岡村喜知郎



KISS／パヴェル・フラヴァ／1999 年
撮影:岡村喜知郎

* 所蔵先の表記のない作品は全て石川県能登島ガラス美術館蔵